



Hokkaido
ECO action!
北海道エコ・アクション



もっと
北海道
2010

明日7月7日は
「北海道クールアース・デイ」

北海道では7月7日を「北海道クールアース・デイ」と定め、道民一人一人が地球温暖化防止について考え、行動するため、道庁および各地域で、さまざまな取り組みを行っています。道庁赤れんが庁舎では記念イベント「赤れんがガイアナイト」を開催。キャンドルの光の中で豊かな現代社会を見つめ直し、地球の未来について考えるひとときを提案します。

赤れんがガイアナイト
2010年7月7日(水) 19:00～21:00(雨天時19:00～20:00)
[赤れんが庁舎] 札幌市中央区北3条西6丁目

- ガイアナイトフォーラム「環境って何だろう？」
- キャンドルアート ●ミニコンサート など

7月7日は「北海道クールアース・デイ」。さわやかな風が吹く夏の夜ときにはすべての照明を消して、キャンドルをともしてみませんか。夜の大地に一つ、また一つと増えていくキャンドルの小さな光。それは、地球の未来を照らす大きなエコの灯です。

電気も消して
エコの灯をともそう。

リビング、キッチン、子ども部屋。使っていないのに照明をつけっぱなしの部屋って、案外多いもの。使っていない部屋の照明を1時間消したときのCO₂削減効果は蛍光灯1本で19g、白熱電球1個で29g。一つ一つは小さくても、家族が、道民がみんなで実践することが、地球温暖化防止の第一歩となります。

「そよ風、雨音、波の音や、星の瞬きって、心地よく感じませんか?」。強まったり、弱まったり微妙に変化して、規則性もありません。実は、この不安定さが、人に心地よさを与えています。自然界の現象には、「1/fゆらぎ」(fは周波数。周波数の逆数にかかわる理論です)と呼ばれる独特のリズムがあり、人を快適にさせることが分かっています。なぜなら、心拍も、「1/fゆらぎ」

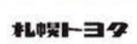
パターンだからです。鼓動や脈は、時々速くなったり、ゆっくりになったり。人間も自然界のリズムで、生きているんですね。キャンドルの明かりも、「1/fゆらぎ」。つまり、人が気持ちよく感じる揺らめきです。癒やしの炎は、自然や環境のリズムに調和をしている証し。キャンドルに包まれた夜は、新しいエコアイデアも生まれるかもしれませんね。」



お天気キャスター 菅井貴子の
ECO Column
[エココラム]

菅井 貴子(すがい たかこ)
気象予報士・防災士・CFPなどの資格を有し、小中学校への環境出前授業や講演、コラム執筆なども行うほか、2009年11月には「なるほど! 北海道のお天気」(北海道新聞社)を出版。

私たちが北海道エコ・アクションを応援します!
【OFFICIAL PARTNER】

▶詳細はホームページへ
<http://eco.hokkaido-np.co.jp> 北海道エコ・アクション 

企画制作 / 北海道新聞社広告局